

第9回役員会議 報告

- 令和2年12月11日(金) 会長・副会長会議 18:00～ 役員会議 19:00～
 - 北九州市立生涯学習総合センター3階 大ホール
 - 出席者(敬称略) 小森・密井・有江・大庭・日野・三浦・森谷・田頭・井上・長野・坂本(浩)・坂本(雅)・奥村・李・今林・船越・西田・藤井・野田・小川・池田・鬼ヶ原・原田
- ※下線太字はリモート参加者

事務局…溝部・今永・村山

- 議 事
議事録署名人と「子どもを育てる10か条」の唱和者の指名
☆ 議事録署名人 松岡 原田
☆ 「子どもを育てる10か条」の唱和 大庭

《役員会来訪者説明》
子ども図書館長 河村信孝 様
日本PTA全国協議会 役員 様

《配布物》
北九州市子ども読書プラン

《役員会来訪者説明》

I. 北九州市子ども読書プランについて
<子ども図書館長>

5年に1度、「北九州市子ども読書プラン」を策定・改定しており、令和3年度が更新の時期となる。令和2年5月よりその内容の検討会を開催しており、PTA協議会からは大庭副会長が関わっている。この草案の内容について、お願いが2点ある。

- ① 来る12月16日(水)より1カ月間、子ども読書プラン草案について市民の皆様からのパブリックコメントを募集する。本日机上に配布している意見書を各学校のPTA会長へ配布してもらいたい。PTA協議会が集約するのではなく、個々人で直接、子ども図書館の電子メールアドレスへお送りいただきたい。
- ② 北九州市の児童生徒の課題として、不読率(一週間全く読書をしない)というものがある。不読率打開のため、学校によっては小学校在学中に公立図書館見学を実施しているところもある。あらかじめ子どもたちに図書カードを作ってもらい(申請書を学校が一括集約し、図書館に提出)、見学当日に好きな本を借りて帰ることができるようにするのが本施策のねらいである。しかし、予算等の問題で図書館見学の実施が難しい学校も少なくない。これまで連合音楽会や陸上記録会の折にPTA会費から交通費の補助をいただけた事例があったが、もし可能であれば図書館見学についても同様のご支援を賜りたいと考えている。その旨、各学校のPTA会長にお知らせ願いたい。

II. 日本PTA全国協議会役員 4名(リモート)

※日本PTA全国協議会(以下日P)役員4名より、日本PTA全国大会(以下日P大会)の運営に対し激励の言葉をいただく。

<日P役員村崎(熊本県PTA連合会会長)>

この場を借りて九P大会くまもと大会について報告したい。コロナ禍の影響で大会自体は中止せざるを得なくなったが、大会誌は作成した。しかし大会参加費収入が無かったため、自己財源と関係団体からの補助金のみで大会誌の作成費を賄わなければならなかった。例年、日Pから補助金を50万円いただいていたが、大会中止に伴い補助金の見込みもなくなった。そのため、九州ブロックPTA協議会予算の予備費の中から50万円補填いただけるよう九州の各協議会会長が集まる理事会でお願いし、承認をいただいた。

1. 会長あいさつ

昨日、日P大会引継会参加のため名古屋に行ってまいりました。そのため、引継会参加者は本日リモート参加となります。一部ではありますが、今回初めてのリモート導入を行いました。会議の新たな在り方を模索する第一歩としたいです。苦しい状況が続きますが、コロナに負けない、乗り越えていく強い気持ちを持ちましょう。

2. 審議事項

① 令和3年度の役員選考委員について

<会長>

役員選考委員候補者は下記のとおりである。

(敬称略)

小・中連携部会（4名） 野田 武志、古森 正樹、鬼ヶ原 浩二、田場 加代子

特別支援部会（1名） 高瀬 まゆみ

母親委員会代表（1名） 戸川 恵

P協役員（1名） 小森 潤一郎

*上記について、賛成多数にて承認。

② 令和2年度 第1回PTA会長・副会長研修会開催について

<密井>

本日の会議に開催要項を提案している。従来はホテル等の会議室で行っていたが、今回は家族で来てもらえるよう、到津の森公園を選んだ。講演だけでなく、到津の森公園で昼食や散策もできればよいと考える。今回の研修の一番の目玉は、現地だけではなくオンライン配信を行うことにある。動画は1週間程度視聴できるようにしたい。講師の岩野園長先生には子どもも楽しめるよう動物の話を交えながら話してもらえるようお願いしている。実施に係る予算は研修委員予算の範囲内で収まるように検討している。研修会への参加費は徴収しないが、参加の皆様には到津の森公園の入場料が必要な点について注意してもらいたい。

なお、岩野園長先生は到津の森の中で講演をするため“業務扱い”となり、講演料は発生しないが、御礼としていくらかお渡ししたいと考えている。

日時 令和3年2月6日（土）11:00～12:10（うち講演50分）

会場 到津の森公園 子どもホール（300名収容）

*上記について、賛成多数にて承認。

③ 日本PTA令和2年度国内研修事業の募集について

<森谷>

全国の各協議会から代表1名の子ども（中学2年生）が集まり、2泊3日の宿泊型で研修を行う。例年は3泊4日、各協議会より2名選出し沖縄で開催されているが、今年度は人数と宿泊泊数を減らし、かつ岡山県で開催されることになった。本事業について、市内各中学校へ募集を行ってもよろしいか。

*上記について、賛成多数にて承認。

3. 協議事項

① 令和3年度の役員候補者の推薦について（別紙資料）

<事務局長>

役員候補者推薦関係書類について、例年年明けにお渡ししているが、コロナ禍でなかなか会合が開けない連合会が多い。少しでも検討の時間が長くとれるようにするため、本日各区連合会長へ役員候補者推薦書を配布することになった。

役員選考においては、令和3年度の連合会長以外の方をご推薦願いたい。また、各区より母親代表候補者（1名）の推薦も願いたい。

<門司区中 P 連>

母親代表候補者は、必ず1名連合会から推薦しないといけないのか。希望者がいる連合会だけでよいのか。

*保留とし、後日回答することとなった。

② 単位 PTA 活動活性化推進事業 アンケート結果について

<森谷>

ご協力いただいたアンケートの集計結果を掲載している。各自でご確認いただきたい。

③ 日本 PTA 全国大会の進捗状況等について

<三浦>

現状、日 P に承認をいただけているのは大会名のみであり、大会趣旨、スローガン、日程などは修正を繰り返している状態である。大会シンボルマークもできていない。来る12月17日(木)、日 P で臨時理事会を開いていただけることになったため、その会議で修正案を上程する予定である。

○ 各部委員(記録・会計等)や部員、テーマ班員の募集について

<三浦>

日 P 大会運営組織について、現在各部会の部長、副委員長は決定しているが記録係や会計は決定していない。協力していただける方を募集したい。連合会の皆様には、連合会内の皆様に声掛けをしてほしい。

○ シンボルマーク募集について

<有江>

案内状には過去の日 P 大会のシンボルマーク、平成23年度九 P 北九州大会のシンボルマークを掲載している。応募締め切りは1月8日(金)で、非常にタイトなスケジュールの中でのお願いで申し訳なく思うが、中学2年生、小学6年生から応募を募りたい。問い合わせ先は北九州市 PTA 協議会になっているので、不明点は P 協事務局に問い合わせさせていただき、折り返し私から回答する。

<八幡西区小 P 連>

協力者の募集については、案内状を作っていたのだろうか。

<森谷>

後で回答する。

4 連絡・報告事項

① 役員より

○ 日本 PTA 表彰報告

<三浦>

去る11月27日(金)に日本 PTA 全国協議会年次表彰式が開催された。コロナ禍のため日 P 表彰については私が代理として参加させていただき、文部科学大臣表彰については花尾小学校から代表1名にご出席いただいた。

○ 九プロ理事会報告(熊本大会の補助金について)

*日 P 役員あいさつの中で報告。

② 連合会より

<門司区小 P 連>

前回の会議で、次年度の連合会還付金を日 P 大会予算に計上するという話を伺い、連合会にこの話を持ち帰ったところ、下記のような意見が出た。下記について回答してほしい。

1. 従来、その還付金は連合会にとって毎年の重要予算だ。それを「2019年度限り」の約束で日 P 予算に充てることを承認したはずだ。正直、非常に困る。

2. 法人化の目的は「繰り越し予算を自由に使える」と謳っていたはずである。なぜ繰り越し予算を使用しないのか。

3. 予算が足りないのであれば、大会の規模を縮小するのが筋ではないのか。

<会長>

精査して、回答したい。

③ 校長会より

<小学校校長会>

冒頭で紹介された図書館見学について。この見学には図書館の利用促進のほか、子どもたちに公共交通機関の利用を勉強してもらいたいもある。当初は校納金の中で交通費予算を賄っていたが、非常に出し入れが煩雑で、取り扱いが難しかった。PTA 予算で助けていただけなのであれば、非常にありがたいことである。联合会の方でも、単位 PTA にご紹介いただきたい。

また、コロナ禍のことであるが、12月1日(火)から新型コロナウイルス感染症対応保健マニュアルが更新された。保護者の方も、お子さんが毎日持ち帰り使用しているチェックリストの内容が更新されたことにお気づきのことと思う。具体的には、チェック項目の内容を改め、“本当に必要な情報を必ず記入していただく”ことを前提に、お子さんの風邪症状についてきちんと判断していただけるようにしている。

現在、各家庭のインターネットの環境調査を市内で行っているが、なかなか回答が集まらず困っている。各家庭のインターネット環境が把握できないと ICT 教育を進めることができない。12月21日(月)が締め切りとなっているので、ぜひともご協力いただきたい。

最後に、今一度「マスクの着用」について考えてもらいたい。マスクの着用の有無が濃厚接触の有無につながる。マスクの着用を徹底してもらえよう、各家庭に伝えてもらえたらありがたい。

<中学校校長会>

年明けに受験が始まる。コロナ対策としては、公立・私立いずれも追試の日程がすべて確定しており、もし新型コロナに感染してしまった場合に追試が受けられるように予定を組んでいる。

また、感染予防について。学校の中でいくら努力しても、どうしても感染者が出てしまうことがある。濃厚接触者をできる限り出さないよう、マスクを外しての会話を控えること、更衣や食事の場面で一切会話をしないことを徹底している。濃厚接触者に指定された時点で2週間学校に来ることができない。今必要なのは革新的な教育活動を行っていくのではなく、子どもの安全を守ることである。

④ 常置委員会の活動報告

<教育環境委員会>

次回の役員会議の折に審議予定であるが「北九州シティ会議」を予定している。具体的には、小学校6年生と中学校2年生の各地区代表児童生徒を選び、大人の私たちと子どもたちで北九州市のためにできることをリモート会議で考え、最終的に「北九州シティ宣言」という形で発表する予定である。リアルタイム視聴のほか、会議の様子は後日配信する。次回の会議でリモート会議のシステム担当者からどのような形で皆様に配信を届けるかを説明してもらう予定である。

<広報部会>

P 協新聞ができあがった。近日中に各学校へ配布されるのでご覧になってほしい。

⑤ 事務局より

・12月、1月行事予定表

・次回 役員会議 1月8日(金) 19:00～ 3階大ホール

⑥ 質疑応答

<門司区中 P 連>

先ほど話していた日 P 大会のお手伝いをしていただける方を連合会で声掛けする、という話だが、これは希望者がいなければ誰も出さなくてもよいのか。また、具体的な必要人数は決まっていないのか。併せて締め切りも明示してほしい。

<森谷>

お手伝いについては、やりたい方がいればお声掛けを行ってほしい。必要人数は各部会によって異なるので一概には言えない。適宜募集してよいのではないかと。

<門司区中 P 連>

期日を決めないと人数が定まらず、困るのではないかと。第 1 次募集という形で一度締め切り、希望者が集まらない、必要人数が集まらない場合に追加募集をかけるほうがよいのではないかと。フェスティバルの当日運営や全体会のお手伝いなどで必要になってくる。都度、募集をかけ締め切る方が望ましいと考える。適宜募集していると人員の把握が難しく、予定が立てづらくなると思われる。

<森谷>

小森会長、年内ということではいかがだろうか？

<会長>

それでよいと思う。

<門司区中 P 連>

話をまとめると、連合会長は年内に各単位 PTA 会長たちに声掛けを行い、PTA 会長もしくは PTA 会長以外の役員の中で手伝っていただける方がいれば連合会長へ申し出てほしいという旨で連絡したらよい、ということか。そして年明けに連合会長は PTA 事務局に連絡すればよいということか。

<会長>

できれば、1 月 7 日（木）の日 P 大会実行委員会までに決めてもらいたい。

<森谷>

各区連合会長は 1 月 7 日（木）までに P 協事務局に日 P 大会お手伝いの希望者を連絡していただくということでしょうか。

<小倉北区中 P 連>

その前に質問したい。市内 PTA にお手伝いを検討いただく材料として、会議の頻度の明示や活動内容の説明が必要なのではないかと。大会当日に会場し、簡単に運営を手伝うくらいでよいのか、企画段階から関わってもらいたいのかを明示すべきでないかと。

<森谷>

各部会によって進み具合が違うので一概には言えない。

<三浦>

スケジュールについては、マニュアルに沿って考えると逆算したうえで確実に揃えたい。やるのが詰まった部会は大変だと思う。総務の方からそれぞれの部会と連絡を取りながら日程の指示を出したいと思う。総務が日程のコントロールを行う。

<八幡東区小 P 連>

募集をかけるということは理解したが、募って手を挙げてくれた方がどの部会に入るのか、そもそも部会に何人がいるのか、人数割りはわからないのか。

<森谷>

人数割りはまだはっきりしていない。

<三浦>

それぞれの部会で話し合う中で、実働部隊等の役目が分散してくるので、話し合っ必要人数を決めていただきたいと思います。4 月から新体制に代わるが、昨年度から次年度に至るまで手伝っていただける方を選んでほしい。

<八幡東区小 P 連>

要は、お手伝いを募っても、現段階ではどの部会に入るのかは不明ということでしょうか。このままでは手を挙げて実際に実行委員会に参加しても、「どこに入ればよいのか？」ということにならないだろうか。

<森谷>

現段階では、決まっていないので一概には言えない。ひとつ言えるのは、各部会で人数が決まったらこちらからお願いしたいということだ。とりあえず名前だけ挙げてもらいたい。

<八幡東区小 P 連>

つまり、連合会はとりあえず手伝ってくれる方の名前を挙げて、後日 P 協の方から本人宛に「●月●日の実行委員会から参加してください」と連絡が来る、ということでしょうか。

<森谷>

そういうことになる。

<三浦>

一部補足したい。このお手伝いは当日の交通整備などのお手伝いではなく、企画に関わり部会に関する決め事を一緒に作っていくメンバーとして捉えてほしい。当日のお手伝いはまた後日募る。

<門司区中 P 連>

この組織図を見ると各部会の記録と会計が埋まっていないので、これらを担ってもらえる人員を募集すればいいのではないのか。記録係と会計係が決まり、各部会で話し合い必要人数が決まった後、この役員会議で各連合会長達に内容を説明したうえで希望者を募る方が早いのではないか。

<森谷>

記録会計については、既に内々で声をかけているところもあるようだ。

<門司区中 P 連>

配布資料 1 1P のテーマ班についてだが、こちらの希望者はまだ決めなくてよいのか。

<森谷>

テーマ会部で精査している。

<日野>

テーマ会は企画内容を検討する知恵が足りていない。できれば連合会の中から一緒に内容を考えてもらえるメンバーを挙げていただきたい。当日の応援は別途募ることになるだろう。テーマ会の中心メンバーが足りていないので、各小・中 P 連から出してもらいたい、強制はしない。活動内容の希望についてだが、「フェスティバル部のようなお祭りの運営であれば企画の一人として参加してもよい」、など明確な希望がある場合は立候補の折に明記してほしい。足りない部会に行ってくれる方、やりたいことが明確にある方、いずれも参加してもらえるならとてもありがたく思う。

<森谷>

八幡西区小 P 連から先ほど質問があった件について回答したい。

<八幡西区小 P 連>

お手伝いの募集案内については、書面で出していただけると聞いたので解決した。

結論としては、各連合会は日 P 大会のお手伝いを希望される方がいれば年内に PTA 協議会へ連絡してほしい、ということでしょうか。また、各部会が何をしているのかが全く見えてこないのだが、それは各単位 PTA 会長にどのように説明したらよいのか。「今年度～来年度まで手伝っていただける方を探す」ということはまず間違いないと思うが、役員の中で決まっていない部分をまずはしっかりとまとめていただくべきだと考える。

<森谷>

来年度卒業してしまう方もいると思うが、来年度も手伝っていただける方を選んでもらいたい。

<八幡西区小 P 連>

各連合会は、来年度どのように活動を行っていくか不安を抱えている。八幡西区でも非常に悩んでいる状況だ。私としても、このような状況の中連合会の会長を来年度で退任することはできないのではないかと検討しているところだ。市 P 協もはじめてのことで悩むこともあると思うが、役員の中で決めるべきところをしっかりと決めてもらえたらと思う。

<三浦>

最後に、昨日行われた日 P 大会引継ぎ式の報告をしたい。

<有江>

引継ぎ会参加者からは「この大会は全国の PTA 会員のために行う大会である」「やらないという選択肢はない」との意見があった。非常にタイトな状況ではあるが、2年連続中止ということは避けたいらしい。非常に日本 PTA 全国協議会の方の熱意を感じた。中止となった富山大会の方々も悔しい思いをしているようだった。全国の皆さんの思いが詰まった一日だった。私も何をすべきか非常に迷っているが、自分なりに腹をくくったつもりである。皆さんにもいろいろとご足労をお掛けすると思うが、ぜひご協力をお願いしたい。